



**「国際学生“社会的 EV”デザインコンテスト 2022」
APEV 主催プレワークショップを開催しました**

2022 年 4 月 4 日
一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)
代表理事 田嶋 伸博

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃から弊会の活動にご協力下さり、心より感謝申し上げます。

APEV は 2013 年から 2019 年まで計 4 回、東京モーターショーの開催時期に合わせ 2 年毎に「国際学生 EV デザインコンテスト」を実施して参りましたが、世界に蔓延している COVID-19 への対応として、2021 年は延期し 2022 年に大幅にリニューアルした第 5 回を開催致します。

1 月 20 日開催の記者発表会に続いてプレワークショップを開催しましたのでご報告いたします。

「記」

- ★日時:2022 年 3 月 27 日(日)13 時～17 時 40 分
- ★参加者:学生、学校関係者、協賛社、サポーター、実行委員会 合計約 60 名
- ★日本 IBM 本社会議室に於けるリアルと WebEx によるウェビナーのハイブリッド
- ★時間割

〈開始時間〉	〈所要時間〉	〈内容〉
13:00	0:05	オリエンテーション
13:05	0:10	コンテスト概要
13:15	0:30	ワークショップの進め方(1)
13:45	0:25	基調講演:藤原審査委員長
14:10	0:05	小休憩
14:15	1:00	協賛各社の発表+学生に考えて欲しい事
15:15	0:05	ワークショップの進め方(2)
15:20	0:20	長休憩
15:40	0:15	ワークショップの進め方(3)
15:55	1:25	ワークショップ:未来探索&未来シナリオ創り
17:20	0:05	小休憩
17:25	0:15	まとめ

★内容

■オリエンテーション

実行委員会の安嶋 言一郎から資料(*注)により下記項目を説明しました。

1. 今日の進め方
2. 時間割
3. 実行委員会紹介

■デザインコンテスト 2022 の概要

実行委員長 山下 敏男から資料(*注)により下記項目を説明しました。

1. 目的
 - 1.1 テーマ:“社会デザインと EV”2040 年の社会の創造
 - 1.2 人材発掘:次世代の星”Mobility Architect”の発掘
 - 1.3 学生 ⇄ 企業:価値ある未来を共に模索
 - 1.4 協業:学校・国を越えるチームづくり(参加は一人から可)

2. 日程
3. 審査委員と協賛企業
4. 採点基準案

■ワークショップの進め方

日本 IBM(株)Business Transformation Consultant 中山 透様から資料(*注)により下記項目を説明しました。

1. プレワークショップで持ち帰って頂きたいこと
2. EV デザインコンテスト期間の流れとプレワークショップの位置付け
3. 未来仮説の構築アプローチについて
4. プレワークショップの進め方 ~全体の流れ
5. 前半 基調講演・企業のプレゼンから「未来 이슈」の設定
6. ワークシート① 未来 이슈(変化の仮説)
7. 後半 ブレイクアウトルームにて未来探索 & 未来シナリオ創発
8. 未来探索
9. ワークシート② 想定外変化の仮説づくり
10. 未来シナリオ創発

■講演「モビリティ×IT の観点から見た 2040 年の社会デザイン【創造】」

審査委員長 藤原 洋が資料(*注)により下記項目を説明しました。

~2040 年の社会背景の考察~

1. 社会状況(人々の生活や移動の手段は?)
2. EV を含むモビリティはどのように進化しているか?
3. 社会インフラはどのように進化しているか?
4. 技術は人々にどのような価値を与えているか?

■協賛 3 社の発表

1. カーデザインアカデミー 校長 喜屋武 タケル様から資料(*注)により説明しました。
 - カーデザインアカデミー(CDA)はデザイン講座をオンラインで提供する国際的な教育サービス
 - 今回のコンペで期待すること
 - エモーショナルな提案を/モノではなく、ヒトにフォーカスした提案を
 - 技術系の学生さんへ:テクノロジーファーストにならないで
 - デザイン系の学生さんへ:スタイリングファーストにならないで
2. 日本 IBM(株)オートモーティブ コンピテンシーセンター自動車産業担当 CTO 川島 善之様から資料(*注)により説明しました。
 - Circular Economy/What is Electric Vehicle ?/ Architecture change of the Car/Similar lesson learned in the past - Case Home Electric appliance/The figure of Car: Internet of the Things Device/Increasing data: example of car probe data/IT Technology' s Evolution
3. MONET Technologies(株) 事業本部商品企画部 部長 川鍋 彰大様から資料(*注)により説明しました。
 - 会社概要/MONET の目指す社会/直面する社会課題/MONET=自動運転時代のプラットフォーム/MaaS とは・・・システム × モビリティ × ノウハウ/事例紹介

■ワークショップ:未来探索 & 未来シナリオ創り

後半は WebEx でブレイクアウトルーム(BOR)を 2 つ作り参加学生さんに選択してもらい、その中で未来探索から想定外変化の仮説づくりを行いました。

BOR1:人と EV 及び社会・環境と EV BOR2: テクノロジーと EV

参加学生さん・協賛企業・サポーター・主催者がオンラインで活発に意見交換を行いました。

*注:発表資料(和文英文)はこちらにまとめております<https://www.apev.jp/contest/2022/work_files.html>

■まとめ

最後に実行委員長山下敏男より参加された学生さんと関係者にお礼をした後、学生さんに対する期待を次のように述べました。「協賛企業は学生さんが 2040 年にどのような社会を想定し、又、創ろうとしているのかに興味がある。皆さんの心の中から出た提案を期待している」

最後に、5月10日の参加募集〆切までに申し込んで頂きたい、又、お知り合いにも声を掛けてもらいたいと結びました。



実行委員長 山下 敏男



審査委員長 藤原 洋



日本 IBM 中山透様



CDA 喜屋武タケル様



日本 IBM 川島 善之様



MONET 川鍋 彰大様



サポーター久保田 剛史様



サポーター山根 健様



事務局安嶋 言一郎



最後に集合写真 (Photo: Takeshi Kubota オンライン参加学生さんの顔出しできず申し訳ありません)

■ビデオ録画: 追って YouTube にて公開します

【コンテスト概要】+++++

■名称: 国際学生“社会的 EV”デザインコンテスト 2022

【社会的 EV とは】『EV 即ちモビリティが社会との関わり方の中で、パブリック/パーソナル双方に対し進化・貢献すること』を本コンテストでは社会的 EV と定義する。

■目的: 社会デザインと EV の可能性の研究を通して、次世代を担う融合型人材を育成

当コンテストは融合型の人材をアーキテクトと呼び、このアーキテクトの育成こそが本コンテストの目玉である。アーキテクトは、クルマを取り巻く専門職に留まらず、デザインやエンジニアリングの範疇を超え、ビジョンと洞察力を有する人材を指す。

■課題: “社会デザインと EV”2040 の提案

■応募要項:

- 1) 2022 年 4 月時点で 18 歳以上の学生 (1 名もしくはチームも可)
- 2) エントリー費: 無料
- 3) 学校をまたがるチーム編成も可 (学校をまたがるチームを作りたい場合は主催者が相談に乗る)
- 4) 参加者は主催者が指定する SNS★に登録し、各種案内にタイムリーに回答できる
★Facebook: <<https://www.Facebook.com/profile.php?id=100015938746866>>
- 5) 作品は英語を基本とする (母国語を併記することは可)
- 6) 15 歳 ~ 17 歳のオブザーバー参加も合わせて募集。尚、オブザーバーは「コンテスト SNS、ワークショップ、最終審査 & 表彰式」に参加し関係者とコミュニケーションを行うことができる。

■審査基準:

1. オリジナリティ: 独自の社会背景の考察が高いレベルであり、かつ提案されるアイデアやストーリーが独創的で魅力的であること
A) 社会課題の考察が的確かつリアリティがある事
B) 解決策のコンセプト・新しい技術やストーリーそしてビジョンが明快であること
2. デザイン: 時代性・社会性を反映し魅力的であり、且つ実現の可能性を秘めていること
3. プレゼンテーション力: プレゼンテーションの表現力、説得力が高い
* 応募者自身のオリジナル作品で、国内外で未発表であること

■体制:

- ◎主催: 一般社団法人電気自動車普及協会 (APEV)
- ◎後援: 環境省、経済産業省、国土交通省、公益社団法人 自動車技術会、
東京大学大学院情報学環、東京都、一般社団法人日本自動車工業会 (申請中 50 音順)

◎協賛:

- ・1 次協賛: (50 音順)
 - ・カーデザインアカデミー (ブランド名)
 - ・(株)ベネッセホールディングス
 - ・CCC マーケティング(株)
 - ・デル・テクノロジーズ(株)
 - ・日野自動車(株)
 - ・日本アイ・ビー・エム(株)
 - ・MONET Technologies(株)
 - ・(株)ワコム
- ・2 次協賛: 募集中 (〆切 8 月末)

■賞

- ◎最優秀賞 副賞 20 万円 + 賞状
- ◎経済産業大臣賞、国土交通大臣賞 (副賞各 10 万円) + 賞状
- ◎協賛団体賞: 協賛団体から提供される物品等 + 賞状

■組織:EV デザインコンテスト実行委員会

◎委員長:山下 敏男 APEV 理事、INTERROBANG DESIGN (株)代表

◎副委員長:有馬 仁志 APEV 理事、有馬マネジメントデザイン(株)代表取締役社長、
横浜スマートコミュニティ代表

◎事務局:一般社団法人電気自動車普及協会(APEV)

■ 審査委員

◎審査委員長:藤原 洋:APEV 理事、株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO、
株式会社インターネット総合研究所代表取締役

◎審査委員:(敬称略、50 音順)

安藤 忠雄:建築家、東京大学特別荣誉教授

井原 慶子:Future(株)CEO、カーレーサー、日産自動車(株)取締役

ジャン ファン:広州自動車グループ デザイン担当副社長

竹岡 圭:モータージャーナリスト、日本自動車ジャーナリスト協会 副会長

松本 博子:女子美術大学 理事 副学長 研究所長 芸術学部 デザイン・工芸学科 教授

パトリック ル ケモン:デザイナー、元ルノー デザイン担当副社長

脇田 玲:アーティスト、慶應義塾大学 環境情報学部 教授

田嶋 伸博:APEV 代表理事、(株)タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長兼社長/CEO

■概略日程:

2022 年1月-8 月 :協賛二次募集

2022 年 2 月 :エントリー開始

2022 年 3 月 27 日 :プレワークショップ開催(今回)

2022 年 5 月 10 日 : エントリー締切

2022 年 6 月 10 日 : 一次作品提出締切

2022 年 6 月下旬 : 一次審査結果発表

2022 年 7 月上旬 : ワークショップ I 開催

2022 年 8 月上旬 : 二次作品提出締切

2022 年 8 月下旬 : 二次審査結果発表

2022 年 9 月下旬 : ワークショップ II 開催

2022 年 10 月下旬 : 最終審査&表彰式及び APEV シンポジウム開催 *

*東京モーターショー(2022 年は開催せず)に代わり CEATEC2022 と連携を行う

(予告なく変更することがあります)

※一般社団法人 電気自動車普及協会では、引き続き会員を募集しております。

お気軽に事務局までお問い合わせください。

●トップページ <https://www.apev.jp/>

●入会ご案内ページ <https://www.apev.jp/entry/>

□正会員(企業向け):年会費 1 口 10万円

□賛助会員(個人向け):年会費 1 口 1 万円

□特別会員(行政機関・官公庁・マスコミ関係者様向け):年会費 無料

問い合わせ:一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV) 内

APEV デザインコンテスト 事務局 安嶋(やすじま)

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール

TEL:050-3375-4937

FAX:050-3153-2686

E-mail :contest@apev.jp

Website : <http://www.apev.jp/contest/>